

NEWS RELEASE

**本質安全防爆構造バリアシリーズに  
待望の温度センサ用バリアが登場**

**温度センサ用本質安全防爆構造絶縁バリア  
“D5072 形”発売**

IDEC 株式会社(社長:船木俊之)は、危険場所に設置された熱電対、測温抵抗体などの温度センサ用の絶縁バリア「D5072 形」を9月30日(金)より発売いたします。

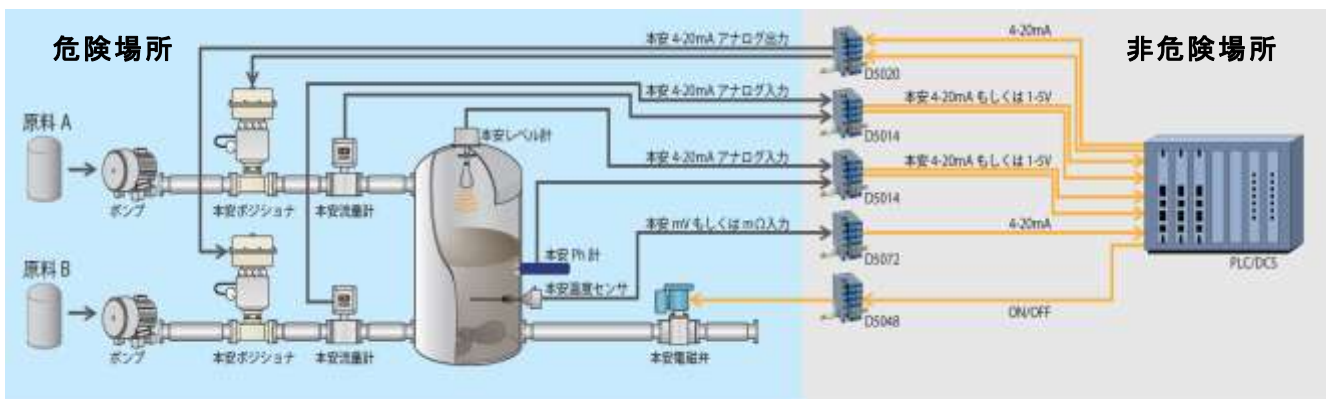
新発売する本質安全防爆構造絶縁バリア「D5072 形」は、危険場所に設置された熱電対からの mV 入力信号、測温抵抗体からの抵抗入力信号などを DC4-20mA へ変換し非危険場所にあるコントローラに出力する高機能な温度信号変換器で、バリアシリーズ D5000 シリーズの特長である薄形設計(12.5mm)、電解コンデンサを使用しない長寿命設計、広い使用周囲温度(-40~70℃)、G3 耐腐食コーティングの採用など、ユーザーにとって使いやすい信頼性の高い製品となっています。



今回の温度センサ用絶縁バリアをはじめ、IDEC では、本質安全構造の絶縁バリアとして、

- 圧力、流量、レベル、Ph といった計装信号を入力するアナログ入力バリア「D5014 形」
- 調整弁制御用ポジションへ信号を出力するアナログ出力バリア「D5020S/D5020D 形」
- 電磁弁の開閉を制御するソレノイド用バリア「D5048S/D5049S 形」

を展開しており、今回の D5072 形の登場により、爆発性ガスの存在する危険場所での化学原料のプロセス製造に必要な本質安全防爆構造の絶縁バリアラインアップが完成しました。



**プロセス製造に必要なアナログ絶縁バリアをトータルに展開**

## 1)用途

製薬・香料・ゴムなどの化学原料製造工場、水素ステーション、石油化学プラント、化学・ガス・鉄鋼・発電プラントなどの温度計測

## 2)主な仕様

- ・ 防爆性能 [Ex ia] IIC
- ・ 防爆構造 本質安全防爆構造
- ・ TIS 検定合格番号 TC211131 号
- ・ 出力タイプ 4-20mA 本安アナログ出力
- ・ チャンネル数 1チャンネル、2チャンネル
- ・ 定格使用電圧 DC24V(DC18V~30V)
- ・ 使用周囲温度 -40~+70℃(ただし、氷結しないこと)
- ・ 質量 約 130g(1チャンネルタイプ)、約 145g(2チャンネルタイプ)
- ・ 外形寸法 12.5W×120H×123D mm

## 3)主な機能

- ・ mV 入力/抵抗入力の 4-20mA への信号して出力
- ・ 温度センサ 2ch の温度入力の合計、差分、最低、最高温度を 4-20mA で出力
- ・ バーンアウト、内部故障、センサの入力範囲外、出力飽和、バリアの使用温度範囲外を検出し、0-24mA の範囲で出力値の設定
- ・ 計装した温度の下限・上限のしきい値を設定し、警報信号(ON/OFF 信号)として出力
- ・ 設定ソフトウェア SWC5090 と USB 接続アダプタ PPC5092 で D5072D へ設定

## 4)価格

オープン価格

以上